

東京商品取引所

次期取引システムの稼働に伴う制度変更等について

変更点は赤字で記述しています。

2016年9月1日

株式会社 東京商品取引所

目次

2

1. はじめに	3
2. 取引時間の変更について	4
3. 引板合せの導入について	6
4. 売買注文の変更について	8
5. サーキットブレーカー制度の変更について	9
6. 即時約定可能値幅の導入について	10
7. ノンキャンセルピリオドの導入について	13
8. 帳入値段及び最終決済価格の変更について	14
9. 金オプション取引の商品設計の変更について	15

2016年9月20日から次期取引システムの稼働を予定しています。これに伴い、取引時間の変更や、取引制度の変更と新規制度の導入につきまして、ご案内をさせていただきます。

2. 取引時間の変更について

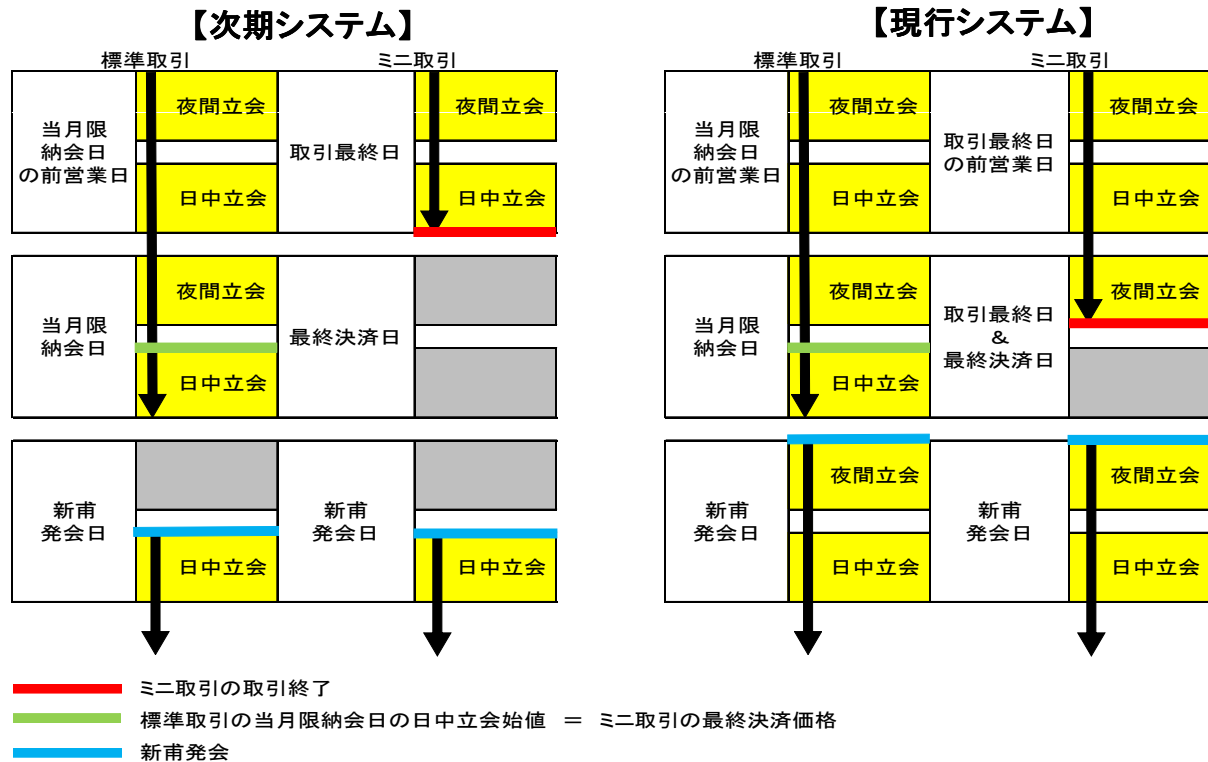
- 日中立会の取引開始時刻を8時45分とし、夜間立会の終了時刻を午前5時30分に変更いたします。これに伴い、注文受付時間も変更となります。
- 年末の取引最終日(大納会)に翌計算区域の夜間立会を実施します。
- 新甫発会を日中立会からに変更いたしますので、当月限納会日の翌営業日からの新甫発会となります。
- ミニ取引の取引最終日が1営業日繰り上がり、日中立会にて取引終了となります。

項目	次期システム	現行システム	備考
取引時間	日中立会 8時45分～15時15分 夜間立会 16時30分～翌朝5時30分 (ゴムは19時まで)	日中立会 9時00分～15時15分 夜間立会 16時30分～翌朝4時00分 (ゴムは19時まで)	日中立会の取引開始を15分前倒し 夜間立会の取引終了を1時間30分後ろ倒し (ゴムは現行どおり)
注文受付開始時間	日中立会 8時から 夜間立会 16時15分から	日中立会 8時30分から 夜間立会 16時15分から	日中立会の注文受付開始を30分前倒し
大納会における夜間立会	年末の取引最終日(大納会)に翌計算区域の夜間立会を実施	夜間立会を行わない	
新甫発会日	当月限納会日の翌計算区域の日中立会から新甫発会	当月限納会日の翌計算区域の夜間立会から新甫発会	新甫発会は日中立会からに変更
ミニ取引の取引最終日	標準取引の当月限納会日の前営業日の日中立会で取引終了	標準取引の当月限納会日の夜間立会で取引終了	

2. 取引時間の変更について

5

(参考) 当月納会日、取引最終日及び新甫発会日の新旧スケジュール



Copyright 2016 Tokyo Commodity Exchange, Inc. All rights reserved.

TOCOM
株式会社 東京商品取引所

3. 引板合せの導入について

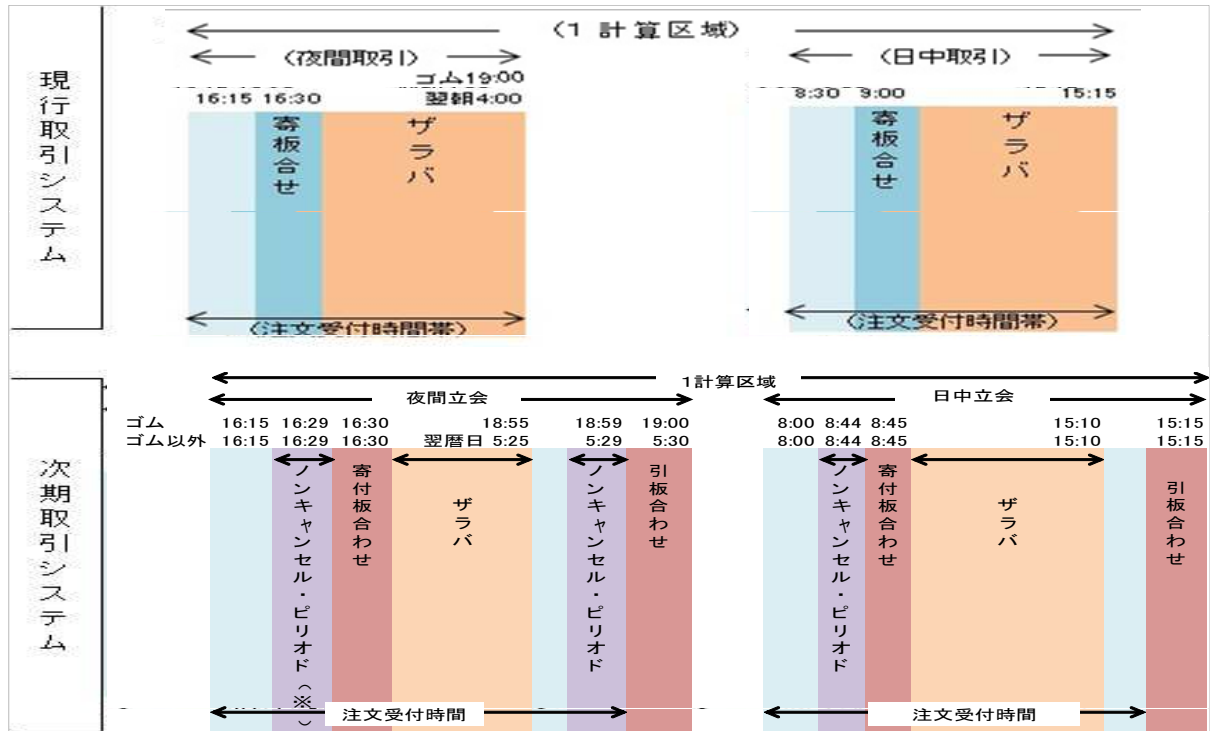
6

- 日中立会においては、15時10分にザラバを終了し、5分間の注文受付時間を設けた後、15時15分に引板合わせを実施いたします。
- 夜間立会においても同様に、午前5時25分にザラバを終了し、5分間の注文受付時間を設けた後、午前5時30分に引板合わせを実施いたします。
(ゴムは18時55分にザラバを終了し、19時に引板合わせを実施。)

項目	次期システム	現行システム	備考
引板合わせ	引板合わせを実施 日中立会 15時15分 夜間立会 翌暦日5時30分 (ゴムは19時)	行わない	日中立会及び夜間立会の最後に引板合わせを実施
ザラバ終了時刻	日中立会 15時10分 夜間立会 翌暦日 5時25分 (ゴムは18時55分)	日中立会 15時15分 夜間立会 翌暦日 4時 (ゴムは19時)	引板合わせの5分前にザラバは終了 引板合わせまでの5分間は注文受付のみで約定は成立しない

Copyright 2016 Tokyo Commodity Exchange, Inc. All rights reserved.

TOCOM
株式会社 東京商品取引所



Copyright 2016 Tokyo Commodity Exchange, Inc. All rights reserved.



4. 売買注文の変更について

次期システムで使用可能な注文の新旧一覧です。名称変更や一部の注文の挙動が変更されます。

注文	次期システム	現行システム	備考
Limit Order(LO)	指値注文(引指を含む)	リミット注文	
Market Order(MO)	成行注文(引成を含む)	マーケット注文	全量約定保障するものではない
Market To Limit Order(MTLO)	対当値段条件付注文	マーケットトゥーリミット注文	一部条件変更(反対サイドに注文がなければキャンセル)
Best Limit Order(BLO)	廃止	ベスト・リミット注文	
Standard Combination Order(SCO)	スタンダード・コンビネーション注文(同一商品の限月間、石油商品、ミニ商品間も組合せ可)	スタンダードコンビネーション注文	有効期限が最大1計算区域まで。
Non-Standard Combination Order(NSCO)	廃止	ノン・スタンダード・コンビネーション注文	
Stop Order(SO)	廃止	ストップ注文	
Tailor-Made Combination(TMC)	テイラーメイドコンビネーション注文(新規:オプション市場)		オプション注文のみ、任意の値差を指定

* CB幅外への注文発注はできません。

Copyright 2016 Tokyo Commodity Exchange, Inc. All rights reserved.



CB発動の条件の変更

現行のシステムでは、当社が定めるC B幅外で注文が対当した場合に、自動的にC Bが発動しますが、次期システムでは、市場状況等を勘案し、当社が必要と認めた場合に限り、C Bが発動します。

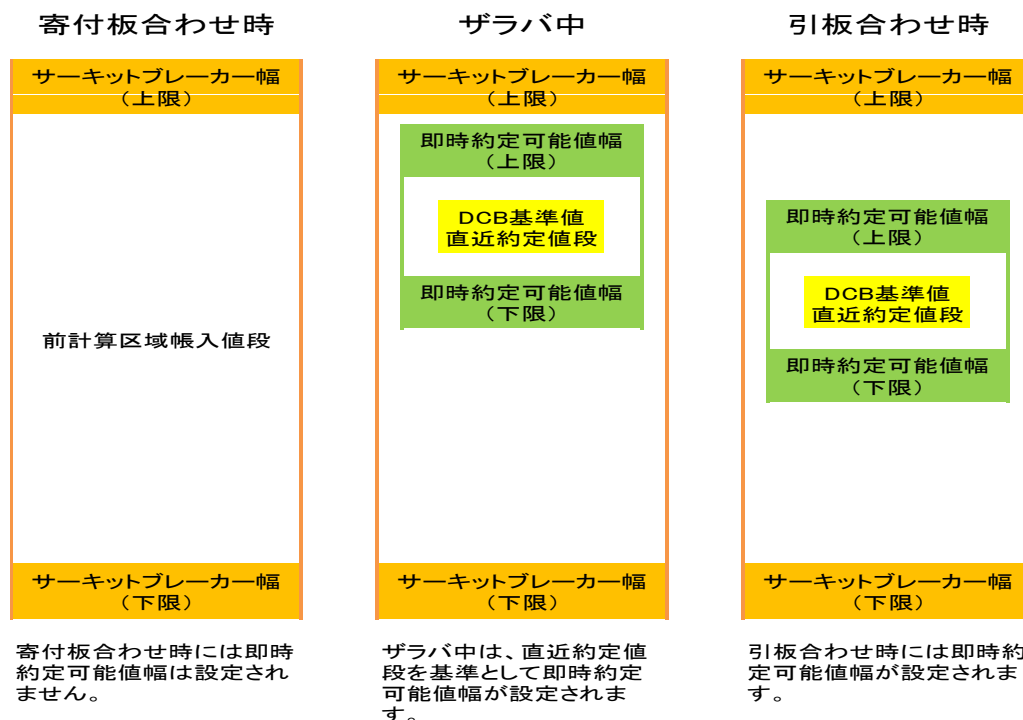
CBに係る立会中断時間の変更

現行のシステムでは、C Bが発動した場合、5分間立会を中断し、その後、立会を再開しますが、次期システムでは、C Bを発動させると当社が判断した場合、当社が必要と認めた時間、立会を中断した後に立会を再開することとなります。

6. 即時約定可能値幅の導入について

価格の連続性を維持し、急激な価格変動を防止するため、即時約定可能値幅を導入します。

即時約定可能値幅	
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・即時約定可能値幅外で注文が対当した場合には、30秒間の一時中断（DCB：Dynamic Circuit Breaker）を行います。 ・DCB中は注文受付を行い、板合わせから再開いたします。 ・即時約定可能値幅は基準値段を基に設定されます。※基準値段は原則として直近約定値段です。
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> ① 寄付板合わせ時（日中立会、夜間立会とも）には即時約定可能値幅は設定されません。 ② 引板合わせ時（日中立会、夜間立会とも）には即時約定可能値幅内で注文が対当した場合に約定が成立します。 ③ DCB後の板合わせ時には即時約定可能値幅内で注文が対当した場合に約定が成立します。 ④ サーキットブレーカー後の板合わせ時には即時約定可能値幅は設定されません。 ⑤ FoKではDCBは発動しません。 ⑥ 即時約定可能値幅は定期的に見直すことがあります。



次期システム稼働時の当初の値である。稼働後も市場の状況を勘案し、定期的な見直しを行います

商品	次期システム		現行システム	
	即時約定可能値幅	CB幅	CB幅(当初)	CB幅(最大拡大時)
金 (標準、ミニ、限日、オプション)	40円	800円	150円	600円
銀	1.0円	30.0円	6.0円	24.0円
白金 (標準、ミニ)	40円	800円	200円	800円
パラジウム	30円	300円	100円	400円
石油市場 中京石油市場	400円	10,000円	2,400円	9,600円
ゴム	1.5円	20.0円	5.0円	20.0円
一般大豆	500円	4,800円	400円	1,200円
小豆	100円	700円	350円	700円
とうもろこし	250円	1,500円	500円	1,500円

※ 即時約定可能値幅を定期見直しにより変更する場合は日中立会から反映し、サーキットブレーカー幅を定期見直しにより変更する場合は夜間立会から反映します

ノンキャンセル・ピリオド(NCP)

訂正・取消し注文により、板合わせ価格が直前に変動することを防止するため板合わせ直前の1分間について、訂正・取消し注文を原則として禁止する。

ノンキャンセル・ピリオド	
概要	板合わせ直前の1分間について、訂正・取消し注文を原則として受付不可
対象商品	全商品
対象時間帯	日中立会の寄付板合わせ 1分前 夜間立会の寄付板合わせ 1分前 夜間立会の引板合わせ 1分前 ※日中立会の引板合わせは対象外、サーキットブレーカー解除後の板合わせ及びDCB後の板合わせにおいても対象外

8. 帳入値段及び最終決済価格の変更について

- 帳入値段は原則、終値となります。
- 当月限納会日は原則として日中立会の加重平均(VWAP)。ミニ取引の帳入値段は現行と同じ、立会スケジュールの変更により取引最終日と最終決済日が異なることとなるのでご注意ください。

項目		次期システム	現行システム	備考	
現物先物取引	帳入値段	通常日	終値	算出基準時間帯のVWAP	終値に変更
		当月限納会日	日中立会におけるVWAP	算出基準時間帯のVWAP	
金ミニ 白金ミニ	帳入値段	通常日	標準取引の帳入値段と同値	標準取引の帳入値段と同値	
		取引最終日	標準取引の帳入値段と同値	標準取引の当月限納会日の日中立会始値 (最終決済価格と同じ)	標準取引の当月限納会日の前営業日
	最終決済価格	標準取引の当月限納会日の日中立会始値	標準取引の当月限納会日の日中立会始値		
金限日	帳入値段	理論値	理論値		
金オプション	帳入値段	通常日	① 日中立会引板合せ約定値段 ② ①がない時は理論値	理論値	ザラ場中の約定値段は参照しない
		取引最終日	① 日中立会引板合せ約定値段 ② ①がない時は理論値	理論値	通常日と同様
	最終決済価格	金標準取引の当月限納会日の日中立会の始値	権利行使したポジションは金標準へ移行		
原油	帳入値段	通常日	終値	算出時間帯のVWAP	終値に変更
		取引最終日	終値	算出時間帯のVWAP	通常日と同様
	最終決済価格	ドバイ原油の月間平均価格	ドバイ原油の月間平均価格		

※ 上記により算出した値段が妥当でないと当社が認めた場合は当社が指定した値段とする

9. 金オプション取引の商品設計の変更について

15

- ・アメリカンタイプから、ヨーロピアンタイプに変更します。また、最終決済日に権利行使された建玉は原市場に移行せず、現金決済されます。
- ・個人投資家も取引参加しやすくなるため、取引倍率を1,000倍から100倍に縮小します。

項目	次期システム	現行システム
タイプ	ヨーロピアンタイプ	アメリカンタイプ
最終決済方法	インザマネーについて、自動権利行使（差金決済） * 権利放棄も可能	権利行使したポジションは金標準取引の建玉に移行
取引単位	100 g	1kg (1,000 g)
限月	6限月制	2限月又は3限月制
権利行使価格	中心権利行使価格から上下20本以上（41本以上）となるよう設定	中心権利行使価格から上下5本以上（11本以上）となるよう設定
	刻み価格：50円	刻み価格：50円

9. 金オプション取引の商品設計の変更について

16

	次期システム	現行システム
取引の種類	オプション取引（ヨーロピアンタイプ）	オプション取引（アメリカンタイプ）
立会時間	【日中立会】 寄付板合わせ 午前8時45分 ザラバ取引 午前8時45分～午後3時10分 引板合わせ 午後3時15分 【夜間立会】 寄付板合わせ 午後4時30分 ザラバ取引 午後4時30分～翌日午前5時25分 引板合わせ 翌日午前5時30分	【日中立会】 午前 9時00分～午後 3時15分 【夜間立会】 午後 4時30分～翌日午前 4時00分
取引単位	100グラム	1キログラム
呼値とその単位	1グラム当たり1円刻み	1グラム当たり1円刻み
限月	新甫発会日の属する月の翌月から起算した12月以内の各偶数月（6限月制）	新甫発会日の属する月の翌月から起算した6月以内の各偶数月（2限月又は3限月制）
オプション銘柄の設定方法	【当初設定】 原商品の新甫発会日における帳入値段に最も近接する権利行使価格を中心に、連続して上下に各々20本の隣接する権利行使価格を設定する 【追加設定】 原商品の当該限月の帳入値段に最も近接する権利行使価格を上回る、または下回る権利行使価格がそれぞれ20本以上となるよう追加設定を行う。	【当初設定】 原商品の直前営業日における帳入値段に最も近接する権利行使価格を中心に、連続して上下に各々5本の隣接する権利行使価格を設定する 【追加設定】 原商品の当該限月の帳入値段に最も近接する権利行使価格を上回る、または下回る権利行使価格がそれぞれ5本以上となるよう追加設定を行う。ただし、取引最終日から起算して6暦日以降の帳入値段に基づく追加設定は行わない
権利行使価格の刻み	50円	50円

9. 金オプション取引の商品設計の変更について

	次期システム	現行システム
新甫発会日	原商品の新甫発会日の翌営業日（日中立会から）	原商品の新甫発会日の翌々営業日（日中立会から）
取引最終日	原商品の当月限納会日の前営業日（日中立会まで）	原商品の当月限納会日の属する月の前月最終営業日（日中立会まで）
最終決済日（SQ日）	原商品の当月限納会日	—
最終決済価格	原商品の当月限納会日における日中立会の始値	—
帳入値段	① 日中立会の引板合わせによる約定値段 ② ①がない場合、理論値（金利はTIBOR12カ月物） * 月末最終営業日から起算して6営業日前に全銀協が公表するTIBOR12カ月物を翌月第一営業日から月末最終営業日まで前限月に適用。マイナス金利になった場合は「0」。金利に変動があっても月の途中では見直ししない。	原則として理論値をもって帳入値段とする
決済の方法	【取引最終日まで】 転売買戻し 【最終決済日（SQ日）】 差金決済又は権利放棄	—
権利行使期間	最終決済日のみ（ヨーロッパタイプ）	新甫発会日より取引最終日まで（アメリカン・タイプ）
権利行使及び割当	インザマネーの場合、自動権利行使。 ただし、権利放棄を認める。 ※ 権利放棄の場合、最終決済日において、売方の残玉に対してランダムに割当てる。 （アウトオブザマネー及びアットザマネーの場合は自動権利放棄）	権利行使があった場合、売方の残玉に対してランダムに割当てる
即時約定可能値幅	直近約定値段（直近約定値段がない場合は前計算区域帳入値段）を基に設定	—
SCB幅	夜間立会開始時に前計算区域の帳入値段（新甫発会の場合は理論価格）を基に設定	夜間立会開始時に前計算区域の帳入値段（新甫発会の場合は隣接限月の帳入値段）を基に設定

9. 金オプション取引の商品設計の変更について

		2016年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
2016年	2月限	1月末日 取引最終日											
	4月限			3月末日 取引最終日									
	6月限					5月末日 取引最終日							
	8月限		2月26日 新甫発会日					7月末日 取引最終日					
	10月限				新甫発会 せず					9月×日 新甫発会日	10月25日 取引最終日		
	12月限						新甫発会 せず			9月×日 新甫発会日			12月21日 取引最終日
2017年	2月限							新甫発会 せず	9月×日 新甫発会日				
	4月限								9月×日 新甫発会日				
	6月限								9月×日 新甫発会日				
	8月限								9月×日 新甫発会日				
	10月限									10月29日 新甫発会日			
	12月限												12月27日 新甫発会日

《当資料の問い合わせ先》

**株式会社 東京商品取引所
広報部 情報サービス課**

TEL:03-3661-9191

**お問い合わせフォーム
<http://www.tocom.or.jp/jp/contact.html>**